

とだ 議会だより

No. 235

6 令和 8 年
月定例会

発行：2026年8月1日



国の交付金を活用した生活支援事業で支援
～プレミアム付電子商品券発行数増、省エネ家電等の買換え補助金予算増～

▷ 03

そこが聞きたい！一般質問 21人の議員が質問

▷ 05

議会を知っ toco！～議長ってどんなしごと？～

▷ 16



Instagram



Facebook



戸田市議会HP

🔍 戸田市議会

検索

<https://www2.city.toda.saitama.jp>
表紙：JA さいたま農産物直売イベント



JA さいたまによる農産物直売イベントに伺いました。



6月23日、市役所東側口ビーにて、JA さいたまによる農産物直売イベントが開催されました。

埼玉県産を中心に、新鮮な採れたて野菜や季節の果物が購入できるとあって、オープン前から多くの方が訪れ、にぎわいを見せていました。農地の少ない本市では農産物の直売は貴重な機会です。議会としても、市民の皆さんに喜んでいただける取り組みを応援していきます。

「採れたての新鮮野菜がずらり！」

会場には、旬の野菜や果物などがずらりと並びました。

生産者の方が丁寧に育てた野菜は、どれもみずみずしく、色鮮やかでした。



「毎月の開催を楽しみにしています。」

「新鮮でついつい
買いすぎてしまいました。」

来場者
の声

「旬の果物を買いました。
食べるのが楽しみです。」



予 告

「今後の開催予定」 次回の開催もお楽しみに！

- ・次回は、8月25日（火）10時30分から開催予定です。皆さんもぜひご来場ください！



令和8年6月定例会

議案などの
詳細はこちら



主な議案

今定例会では、市長提出議案などが23件、議員提出議案6件、陳情4件が提出されました。
ここでは、主な議案や、討論が行われ賛否が分かれた議案などを紹介します。

国の交付金を活用した生活支援事業で支援！

～プレミアム付電子商品券発行数増、省エネ家電等の買換え補助金予算増～

補正
予算

議案第47号

令和8年度戸田市一般会計補正予算（第2号）

原案可決（全会一致）

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、エアコン・冷蔵庫の買換えを対象とする「ゼロカーボン推進補助金」の予算増額および秋に実施予定の「第7弾プレミアム付電子商品券」の発行セット数を増加します。（50,000 セットから 80,000 セットに増加）

Q

補正予算の内容、積算根拠は。

A

10月利用開始予定のプレミアム付電子商品券の発行セット数を 30,000 セット増加する。プレミアム原資分と商品券発行や決済代行手数料で合計 3,660 万 3,000 円となる。

賛 成

政策TODA

古屋 としみつ 議員



本補正予算について、物価高騰対策として市民生活支援を迅速に実施する必要があることから賛成する。しかし、TODAPAYのアプリ登録者は市民全体の3割程度にとどまり、多くの市民が制度の入口に立てていない状況である。さらに、市外在住の市内在勤者も対象となっており、申込みや抽選によって支援額にも差が生じるなど、公平性に課題がある。今後はより多くの市民の理解と納得が得られ、公平に支援が行き届く制度設計となるよう求める。

補正
予算

議案第44号

令和8年度戸田市一般会計補正予算（第1号）

原案可決（全会一致）

Q

生活保護費追加給付事業を行う経緯、対象世帯と支給額、開始時期は。

A

最高裁判決を踏まえ、国は追加給付実施の方針を決定し、本市も国の方針に基づき実施。対象は、平成25年以降の基準改定により生活扶助基準等が減額された約4,600世帯、支給額平均は一世帯73,000円程度。令和8年9月支給に向け準備を進め、広報や市ホームページで周知する。

Q

戸田公園駅周辺まちづくり用地の暫定利用候補者の辞退の経緯は。

A

3事業者から住宅展示場の提案を受け、選定委員会にて第3位まで候補者を選定したが、第1位候補者が中東情勢などの影響により辞退し、ほか2者も同様の理由で辞退した。

賛 成

政策TODA

遠藤 英樹 議員



戸田公園駅周辺まちづくり用地の暫定利用について、契約に至らず減額補正となった。当該土地は戸田公園駅前開発のための用地であり、そもそも長期の賃貸借という判断が正しかったのか。戸田公園駅前開発はボートのまち戸田のブランディングも含め、本市の将来を決定づける大事な事業。市民の皆様に期待だけを抱かせて今の状況を続けることのないよう、この土地の利用を含めた駅前の開発をしっかりと議論して正しい結論に導いてほしい。

戸田市税条例の一部を改正する条例

反対

日本共産党戸田市議団
本田 哲 議員

改正の市税には軽自動車税（環境性能割）の廃止が含まれる。自動車の環境性能割は取得時の環境性能に応じ段階的な課税を行うことができ、政策目的にも効果がある。しかし、環境性能割の廃止は自動車の脱炭素化を遅らせることにつながりかねず、CO₂削減、地球温暖化対策に逆行することから、専決処分の承認に反対する。

賛成

戸田の会
矢澤 青河 議員

本改正は被災された方への負担軽減「令和6年能登半島地震に係る固定資産税の特例」に関する申告手続きが含まれている。また、環境性能割の見直しは、国の方針に慎重な声もあるが、市が単独で制度の拒否や独自ルールをつくることは不可能。改正に合わせて条例を遅滞なくアップデートし、市民の納税環境と被災者支援の特例を守るための極めて妥当な措置である。

戸田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

反対

日本共産党戸田市議団
花井 あきこ 議員

子ども・子育て支援は社会全体で支えるべきであり、本来は国の責任で安定した財源を確保すべき。国民健康保険加入者に新たな負担を求めることは実質的な負担増で、物価高騰の中、市民生活にさらなる負担を強いている。制度を持続可能なものとするため、国庫負担を拡充すべきと考え、国民健康保険税条例の一部改正に反対する。

賛成

戸田の会
酒井 いくろう 議員

①国の政令改正に適切に対応し、法令との整合性を確保するとともに、適正な制度運営を維持するために必要な措置②低所得世帯の負担軽減に直結する有利な改正③国の制度改正に対応し、子ども・子育て支援納付金課税額の上限設定など適切な運用を図るための整備。以上の点から、市民への迅速な支援措置を滞りなく講じる行政対応であり、速やかに承認されるべき。

インボイス制度廃止と、事業者の負担を軽減する経過措置を改悪しないよう求める意見書を国に送付することに関する陳情

賛成

日本共産党戸田市議団
本田 哲 議員

インボイス制度の導入により、小規模事業所やフリーランスが消費税の納税義務を負わされ苦しんでいる。実態に背を向け、激変緩和措置を縮小し、数年後に廃止することは廃業の危機となる。市内の事業所などのくらしと命、くらしと生業を守るためにも本陳情に賛同する。

◇陳情第4号(令和8年) 自転車の新しい制度啓蒙に関する陳情

みなし採択※

◎戸田市公平委員会委員
おくずみ あきら
奥墨 章氏(再任)◎戸田市固定資産評価審査委員会委員
たべい としお
田部井 敏雄氏(再任)

《結果》いずれも同意(全会一致)

◇議員提出議案第3号 全てのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書
◇議員提出議案第6号 再審開始決定に対する検察官の抗告を禁止する法改正を求める意見書

原案可決
原案可決

一般質問

そこが聞きたい！

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、21人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しています。

なお、各ページに掲載しているQRコードから、各議員の一般質問の録画配信映像をご覧ください。



樹木被害の未然防止を前進

Q 県内で被害が拡大する特定外来生物クビアカツヤカミキリ対策と、倒木事故防止に向けた樹木管理について、被害の早期発見体制や、外見から分かりにくい樹木内部の劣化への対応について市の考えを伺う。

A クビアカツヤカミキリが本市へ襲来することを前提に未然防止に努める。また、被害の兆候であるフラスなどについて点検項目への反映を検討するとともに、倒木リスクの軽減措置については、国のガイドラインも踏まえ、樹木点検の精度向上を図っていく。

意見 守るべき樹木はしっかり守り、危険な樹木は適切に管理する。そのための予防保全の視点に立った樹木管理がますます重要になると考える。緑の保全と安全確保の両立に向けた取り組みを要望する。

0～2歳児保育料負担軽減へ一歩前進

Q 上の子の卒園により下の子が第1子扱いとなり、保育料の軽減措置がなくなる現状があり、子どもの人数は変わらないにもかかわらず負担が増えることについて、市の認識と今後の対応を伺う。

A 令和8年4月に49人の児童で保育料が増額となり、平均で月額約2万3,600円の負担増が生じており、今後の検討課題のひとつとしている。0～2歳児保育料の段階的無償化の検討とあわせ、負担の在り方についても検討を進める。

意見 子育て世帯が安心して子どもを産み育てられる環境の充実に向けて、子育て支援のさらなる充実に取り組んでいただくことを要望する。



子育て世帯を応援



未来を見据えた安全安心のまちづくり

倒木リスクと安全対策

Q 公共空間における倒木リスクへの対応は。

A 街路樹や公園樹木の定期点検や、台風や強風時には必要に応じてパトロールや倒木処理などの災害対応を行っている。

Q 空き家における危険木の安全対策は。

A 危険木の相談があった際は、市が現地確認を行い、周辺への影響がある場合は所有者へ指導するとともに適正管理に向けて支援策などの情報提供している。



倒木リスクに備えるために

富士山噴火に伴う火山灰対策

Q 富士山噴火に備えた地域防災計画の位置づけは。

A 国や県のガイドライン等を踏まえ、今年度改訂する戸田市地域防災計画に火山灰対策を新たに掲載する。

Q 市民への周知や火山灰を想定した訓練を取り入れる考えは。

A ハザードブックや防災フェアを活用し、屋内退避や備蓄の重要性を周知するとともに、他自治体の訓練状況などの情報収集を行っていく。

健康経営の推進

Q 市内事業者への健康経営の推進について伺う。

A 認定事業者紹介など健康経営の普及啓発に努める。

Q 市職員の働きやすい職場環境づくりについて伺う。

A 健康増進や働きやすい職場づくりを研究する。

ネーミングライツの活用

Q ネーミングライツ事業の成果と課題について伺う。

A 地域内経済の循環や地域への愛着が生まれる。一方、実績が少ないことが課題。



学童の一時保育の申請手続きの改善を

Q 学童の一時利用では、申請のたびに紙の申請書を学童保育室へ提出する必要があり、保護者の大きな負担となっている。「平日に窓口へ行けない」「申請のために仕事を休まなければならない」との声も多い。多くの自治体では手続きのデジタル化が進んでいるため、本市でも学童の空き状況の確認や予約をスマートフォンで完結できるよう改善してほしい。

A 保護者の負担軽減につながるよう、学童の一時保育の申請方法の見直しや、デジタル化を検討していく。

夏休みなど長期休みの学童の定員増を

Q 夏休みなどの長期休みは、学童の一時保育の枠が足りない場合がある。長期休みの枠を増やせないか。

A 長期休み限定の一時保育枠を増やすことは難しい。

意見 難しいのであれば、こどもの国やあいパルなどの公共施設を活用して、長期休みのための「子どもの居場所」をつくるなど、代替案の検討を要望する。

登校前の子どもの居場所づくりを

Q 埼玉県内でも導入する自治体が増えている「朝の居場所づくり事業」。私の元にも、「朝の居場所」がないことの不安を訴える保護者からの声が届いている。子どもの安全を守るためには、事故や事件が起きてから対応するのではなく、未然に防ぐ取り組みが必要である。そこで、本市においても小学校の登校前に子どもを安心して預けられる「朝の居場所づくり」の導入を要望する。

A 引き続き、今後の需要や社会情勢などを見極めながら調査・研究していく。



北戸田まちなかウォークブルの未来

Q 北戸田駅周辺は通勤通学の通過点になりやすく日常的な歩行需要、消費活動が少ない。課題に対し工事終了後の利活用を見据えた現状と実証実験の成果は。

A 将来ビジョンの主旨に賛同いただいた地元町会・北戸田商店会・周辺事業者等で新たに組織した「北戸田まちづくりラボ」を中心に、高架脇道路・公園での体験会や、キッチンカー出店などの社会実験を実施し、にぎわい創出を図った。今後、何が大切なのか、地域の担い手と議論を深め、にぎわいの創出づくりに取り組む。

Q 市民のにぎわいを日常化するため、行政がプラットフォームとなり、市内の地域資源を掛け合わせるクロスマーケティングの導入を。多世代交流を生む仕掛けや、市内を回遊できる仕掛け、大きなイベントから日常的なイベントなど、新たな担い手や民間企業を巻き込む仕掛けを戦略的に行うことについて市の見解は。

A 駅周辺のにぎわい創出には新たな担い手となるプレイヤーが必要と認識。今後もより多くの皆様から協力が得られるよう、庁内各部局と連携して取り組む。

意見 市民、事業者と各部局とのすでにある大切なつながりは本市にとって「かけがえのない有効な地域資源」である。部局の垣根を越えて横断的に掛け合わせられるよう、行政がハブとなって既存の強みを全庁で共有し、上手につなぐことが求められているのではないか。地元の「北戸田まちづくりラボ」など全市民が主役となり、自発的で活気ある北戸田の賑わいを作り出せるよう、庁内一丸となったワンチームでワクワクする未来に期待し、全力で応援していく。



得意を活かしチャレンジできる北戸田へ！



公園リニューアルの今後の展開を

Q 公園リニューアル計画の進捗と今後の展開は。

A 民間活力の導入による公園管理の効率化や賑わいの創出を目指し、令和4年4月から彩湖・道満グリーンパーク外84都市公園に包括指定管理者制度を導入。今後、63公園を追加し、148公園に同制度を拡大する。また、大規模な公園再整備では、今年度は笹目地区の^{はたけなか}圃中公園、令和9年度は新曽地区の（仮称）里地公園、令和10年度は北戸田駅周辺の連続的にぎわいの創出を目的とする（仮称）2号公園をそれぞれ整備する予定。

公共施設トイレの環境整備を

Q 公共施設内におけるトイレの育児環境整備状況は。

A 男子トイレにおむつ交換台を設置しているのは、公共施設で5か所。男性の育児参加の観点からも、ユニバーサルデザイン化を推進していく中で対応する。

Q 福祉センターの多目的トイレの改善を。

A 扉が重く開閉しづらいことや照明の点灯が利用上の大きな負担との声を踏まえ、今年度中に扉の開閉機構の改修や人感センサー型の照明への変更を進める。



福祉センターの多目的トイレの扉

ほじょ犬の理解啓発を

Q 盲導・介助・聴導犬の理解啓発に向けた取組状況は。

A 市公共施設においてポスターやパンフレットを配架している。民間施設や市内飲食店については、市商工会と連携し、ほじょ犬の啓発リーフレットやステッカーなどを配布して掲示いただける施設を増やす。



むとう 葉子 議員
(日本共産党戸田市議団)



道満グリーンパーク駐車場料金減免

Q 今年3月まで行ってきたスポーツ少年団などに対する駐車料金の減免が一部変更となった。団体からどのような意見が出され、見直しに反映したのか。

A 団体への説明会で、スポーツ振興に支障をきたすことや荷物搬入への対応を求める意見があり、上限を設けて減免を継続し、短時間入庫を15分延長した。

Q それでも市民の負担は増加している。「市民の声を聞き、必要に応じて見直しを行う」と常任委員会では答弁しているが、いつを予定しているのか。

A 随時、意見を聞き、駐車場の運用状況を注視する。

包括的性教育と妊産婦への支援を

Q 予期せぬ妊娠で孤立出産したケースは虐待リスクにつながる。年齢や成長に応じた包括的性教育が進むことで、人権教育を基盤とした自分を大切にすることや他者を尊重することなど、互いに安心できる関係がつくれ、自分の生き方を自己決定する力を育むことになる。保育園・幼稚園・義務教育課程での実践は。また予期せぬ妊娠での相談窓口や「にんしんSOS」の周知は。

A 保育園や幼稚園では望まぬ接触は嫌だと意思表示することや、自分や相手の気持ちに気づくような時間をつくることなど、健康や安全について考える機会をつくっている園もある。小学校や中学校では「生命の安全教育」として性暴力の当事者にならないための取組やデートDV、SNSの適切な利用も学習している。予期せぬ妊娠への相談に対し、保健師が電話や面談で対応。にんしんSOS 埼玉は公共施設での周知も検討する。



市内ユースクリニックの取組



はな い あきこ 議員
(日本共産党戸田市議団)



物価高騰から市民生活を守るまちへ

原油不足の影響

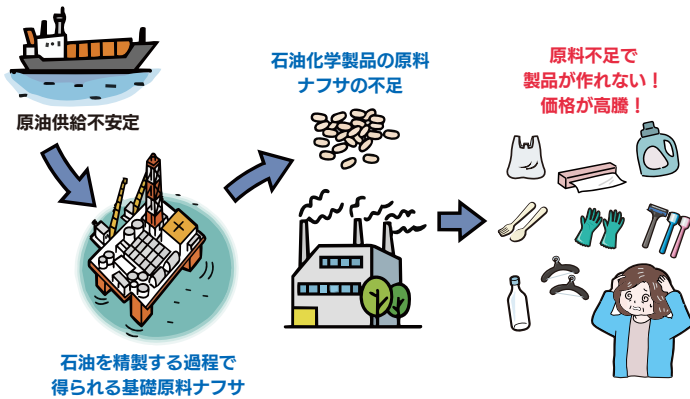
Q 原油やナフサの価格高騰・供給不安が長期化する中、市民生活や地域経済への影響についての認識と今後の対応は。

A 物価高騰が市民生活や事業者経営に大きな影響を与えていると認識しており、これまでもTODAPAYや上下水道料金基本料金免除などの支援を実施している。今後も社会情勢を注視し、適切な対策を講じる。

Q 物価高騰や原油・ナフサの供給不安が長期化する中で、市民生活を守るため、再度の上下水道料金基本料金免除を含めた支援策を検討する考えは。

A 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金として本市に2,766万6,000円が配分される見込みであり、効果的な活用策を検討する。

意見 物価高騰が長期化する中、市民の命と暮らしを守るため、国の交付金に加え財政調整基金の活用も視野に入れ、上下水道料金基本料金減免の再実施を含む効果的な支援策の速やかな実施を要望する。



住宅支援の拡充

Q 杉並区など他自治体で実施している市営住宅落選者世帯への家賃助成や民間賃貸住宅を活用した居住支援について、市の見解は。

A 他自治体事例は承知している。落選者世帯向けではないが、本市にはさまざまな支援制度や、セーフティネット住宅などがあることを情報提供していく。

意見 住まいは暮らしの基盤であることから、市営住宅落選者への支援拡充を要望する。



そごう 拓也 議員
(政策 TODA)



生成AIの活用

Q 生成AIは事務効率化だけでなく、事務検索、資料作成、データ分析にも活用が期待される。市民サービス向上と職員負担軽減の両面から今後の方針を問う。

A 生成AIの利用基準を作成し、安全な環境で利用している。議事録や業務マニュアルなど読み込ませ、答案を導き出せるシステムの導入を準備している。またデータマネジメントの必要性は認識しており、今後、先進事例を含め研究する。国の動向や先進事例のセキュリティ対策を含め、実情に適した進め方を検討していく。

公衆浴場の活用と持続可能性

Q 公衆浴場は歴史、文化的な社会基盤である。コミュニティ、健康、災害時などを含めた多機能インフラの観点から、現状の支援と今後の活用方針を問う。

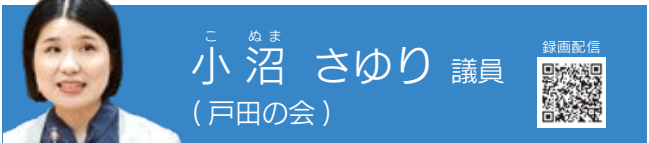
A 市内3公衆浴場が補助対象で設備改修、水質検査などの経費補助のほか、安価な水道料金設定などの支援をしている。今後、公衆浴場を活用した災害に対するレジリエンス強化を調査研究していく。

書店の活用と持続可能性

Q 書店の撤退は、知的アクセスの機会を奪い、教育環境や地域コミュニティに影響を与える。持続可能な共存は。

A 書籍を手に取り、内容を確認しながら選ぶ機会は、全国的にも減少傾向にある。競争性・公平性に留意しながら、市内事業者の活用も配慮し、読書環境の維持に努める。図書館利用と書店利用双方につながる周知・連携や、本に親しむ機会を広げる取組を進める。

	「銭湯」減少	「書店」減少
背景	全国の銭湯減少 (戸田市は3箇所)	市内の書店減少 (駅前書店なくなる) (市内1書店だけに)
目的	銭湯と「地域の共存」	書店と「地域の共存」
対策	入浴券：多世代が利用 防災：災害時利用の協定 広域：藤・川口等広域協定	図書館×書店連携 学 校×書店連携 書籍の地元書店調達



こ め ま さゆり 議員
(戸田の会)



町会・自治会のデジタル化支援

Q 町会・自治会では、高齢化や担い手不足により、回覧板の配布や会費徴収などの負担が大きくなっている。電子回覧板やWi-Fi環境整備など、デジタル技術を活用した負担軽減について、市の考えを問う。

A 市としても、回覧板や会費徴収が役員の負担となっていることを認識している。現在37の町会・自治会でWi-Fiが導入されており、子どもの居場所づくりなどに活用されている。電子回覧板やキャッシュレス決済は負担軽減や利便性向上が期待される一方、費用や個人情報保護などの課題もあるため、先進事例や導入効果などを踏まえ、支援の在り方を検討していく。

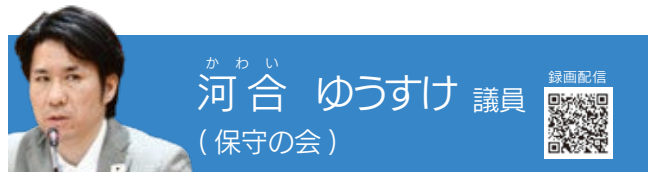
Q 掲示板の老朽化が進む中、今後の地域情報の伝達手段について、市の考えを問う。

A 市内には370か所の掲示板が設置されているが、維持管理に多額の経費を要することから、新たな掲示板は設置しない方針を町会・自治会と共有している。今後は、紙の回覧板や掲示板を必要とする方へ配慮しつつ、電子回覧板をはじめとするデジタル技術の活用促進について、町会・自治会の意見を伺いながら検討していく。

意見 デジタルを活用できる方には活用していただくことで、紙での情報提供や対面支援が必要な方への対応をより充実させることができると考える。また、役員の負担軽減や若い世代の参加促進にもつながり、町会・自治会活動を持続可能にする一助となる。地域のつながりを大切にしながら、時代に合わせたデジタル活用と負担軽減の検討を今後も要望する。



誰でも参加しやすい環境づくりを



喜沢小学校の授業カリキュラム変更

Q 喜沢小学校の授業カリキュラムが変更され授業時間が短縮された。喜沢小学校は国から指定された研究開発学校として、令和10年まで通常授業を午前中に40分×5時間とし、午後に学びの場の時間をつくる制度に変わった。これにより、基礎学習の時間が不十分となるデメリットもあると捉えられる。また、外国籍の子どもが多く、日本語のケアをするため授業が遅れがちであると聞く。子どもに自由時間を与えることは、柔軟な時間の使い方ができる一方、遊びやゲームで学習が遅れてしまうというデメリットもある。今回の新カリキュラムへの移行に当たっては、保護者への十分な説明・同意もなく、市の決定事項を事後報告されたと考えられる。保護者からデメリットを懸念する声があがっており、アンケートを実施してほしいと提案したものの、校長から実施できない旨の回答があった。保護者のリアルな声はどのように届けられよいのか伺う。

A 学校は国の審査を得たうえで学校運営協議会での協議や保護者説明会を行ってきた。一方で、新しい取組であることから、保護者にとって、趣旨や具体的な内容がイメージしにくい面もあったかもしれない。今後は、児童や保護者アンケートも実施しながら取組の検証をするとともに、必要な情報を分かりやすく伝えるよう努める。



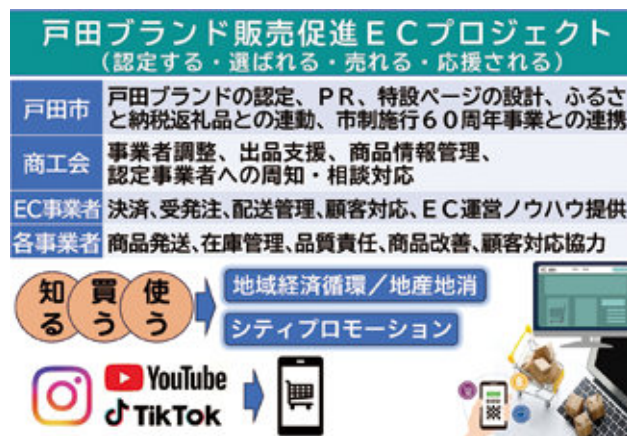
戸田ブランド販売促進 ECプロジェクト！

戸田ブランドの認定と販売促進

Q 市内商工業の魅力ある商品などを優良推奨品として認定する「戸田ブランド」について、認定・紹介のみではなく、ネット注文、ふるさと納税返礼品などにつなげる「販売導線型」のサイト構築について伺う。

A ECサイトの構築は、運営主体による商品や配送管理、問い合わせ対応などの仕組みを整える必要や、ネット販売を実施していない認定事業者の存在など課題がある。今後商工会とともに調査研究を進めるが、まずは既存のWEBサイトの改善に向けて検討する。

意見 推奨認定されたブランド品として育成し、認知度を高め、販売促進につなげることが重要。そこで、販売導線型サイト構築・運用に向けて、商工会・認定事業者・民間EC事業者と連携した「戸田ブランド販売促進ECプロジェクト」を提案する。他の販売促進事業や市制施行60周年事業との連携と併せ、その先のシティプロモーションに結びつけてほしい。



補助金・助成金の適正な運用について

Q 「戸田市補助金等調査検討委員会」の審議基準は。

A 補助金等交付規則の中の公益性、公平性、有効性、適格性の基本事項等の各評価項目につき、個別具体的評価基準が定められ、評価票で審議し点数化する。

意見 1回が限度の「がん患者医療用補正具購入費補助金」があるが、「アピアランスケア支援」*へ向けて、再発・転移・長期治療・治療内容変更、一定年数経過などの場合には、2回目以降の補助を認めるなど、より実態に即した制度への見直しを希望する。



骨粗しょう症検診を受診しましょう

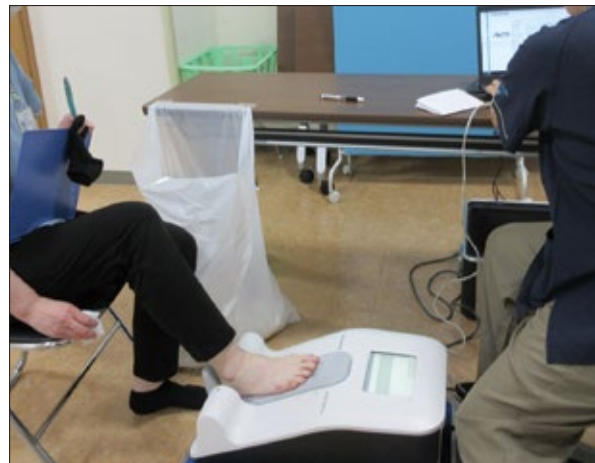
骨粗しょう症検診について

Q 骨粗しょう症検診の概要は。

A 検診の対象者は40歳から70歳までの5歳刻みの女性で、個別に案内を送付し、9月から集団検診として土曜日を含め5回実施する。検診では、食生活や運動習慣の問診のほか、超音波機器によるかかとの骨量測定と、その場での結果説明を行う。保健師・管理栄養士による予防のための食事や運動等の指導を行い、生活習慣は骨の強さや骨折と深く関わっていることを理解していただく。

Q 検診後のフォロー体制について伺う。

A 検診の結果、要精密検査に該当する方は蕨戸田市医師会加入の整形外科への受診を勧め治療につなげる。このほか、生活習慣を見直すきっかけとして、骨粗しょう症予防の教室を案内する。



骨量測定

防犯アプリの活用

Q 防犯アプリ「デジポリス」や「詐欺バスターLite」の活用について伺う。

A 現在、蕨警察署から、警察庁が推奨する「詐欺対策」と「詐欺バスターLite」の2つのアプリの周知と活用促進の協力依頼を受けている。防犯アプリの活用については、特殊詐欺などの被害防止に大きな効果を発揮するものと考え。今後、市ホームページへの掲載のほか、蕨警察署から提供されたチラシも活用した、主に高齢者の方が参加する市内イベントなどで周知啓発の徹底など積極的に登録を促す。



彩湖 BASEは市民の自慢の財産です

笹目川流域治水の推進

Q 笹目川の特定都市河川指定を受け、今後の予定は。

A 笹目川流域水害対策協議会が設置され、令和9年3月中の計画策定を目指し、ハード・ソフトによる総合的な浸水被害対策の検討を進める。

意見 協議会が単なる情報共有の場にとどまることなく、上流域であるさいたま市側に対しても、確実な流出抑制策について本市が主導権を握った実効性のある議論の場となることを求める。市民や事業者が前向きに取り組めるよう、雨水貯留対策の支援策や補助制度を拡充するなど、市民が参加しやすい環境づくりもあわせて進めることを要望する。

彩湖 B A S E の市民利用と市民還元

Q 彩湖 B A S E は、市民が利用しやすい仕組みが重要。市民利用と市民還元について市の考えを伺う。

A 本施設は、地域の活性化にも資する貴重な施設と認識しており、多くの市民の皆様にご利用いただきたいと考える。

意見 市民還元の視点に加えて、にぎわい創出や収益確保にもつながる施設として経営目線が重要。例えば、ふるさと納税の制度を活用するなど、市外の方に本市の魅力を体験していただき、その対価を市の財源とし、市民サービスや施設の充実に還元していく。市民には「最大の還元と学びの場」を提供し、市外の方から「戸田の魅力の対価」をしっかりと頂く。そして、その収益をさらなる市民サービスや施設の充実に再投資していき、持続可能な施設となるよう要望する。



彩湖 BASE の宿泊キャンプ場



あそ かずひで

浅生 和英 議員

(戸田の会)

録画配信



災害に強いまちと、孤立しない子育てを

さくら川の治水と環境整備を求める

Q 資材高騰などの遅延リスクがある。過去の溢水箇所などへ予算配分を行う工夫をしては。熊笹やごみ対策を講じ名所に相応しい植栽管理も求める。また、県管理の植栽では臭気を抑制できないのは明白である。臭気対策は密閉、吸引、排出など技術的なアプローチが重要である。特定都市河川指定を機に内水氾濫対策も笹目川流域水害対策計画に反映することを要望する。

A さくら川の整備率は計画通りである。桜は計画的に管理し、枯れ木は伐採する。熊笹などは現地を注視する。県には適切な管理と環境対策を要望する。笹目川流域は計画に基づき、総合的な浸水対策に取り組む。



臭気対策と景観のための植栽

寄り添う家庭教育の支援体制構築へ

Q 国は「第4期教育振興基本計画」において日本社会に根差したウェルビーイングの向上などを掲げており、実動組織として文部科学省推進の「家庭教育支援チーム」の組織化・登録を主導している。「おうちでサクッと家庭教育動画」などの全体啓発に加え、個別伴走型の「家庭教育支援チーム」の登録など、先進事例を参考に市が主体となり環境を整備して市民活動のさらなる支援を要望する。信頼関係を築く窓口は地域のセーフティネットになり教員の負担も軽減する。

A 保護者の学びの機会が地域とのつながりを広げる契機となるよう、登録手続きのサポートを含め、家庭教育支援の取組を推進する。子育ての悩み事はこども家庭相談センターや、地域子育て相談機関で受け、丁寧に寄り添い対応している。悩みを抱える声が届いたら、活動団体からも相談機関へつないでい

ただきたい。



ほん た てつ

本田 哲 議員

(日本共産党戸田市議団)

録画配信



本町2丁目交差点をスクランブルに

Q 本町2丁目交差点をスクランブル交差点にできないかとの要望がある。スクランブル化は可能か。

A 蕨警察署が、本年5月末に現地確認と交通量調査を実施しており、その結果を踏まえ、埼玉県公安委員会が総合的に判断することになる。

意見 過去の一般質問で、本町2丁目交差点に「歩行者信号『青』の時 自転車はおりて渡りましょう」と表記された電柱幕の設置を求め、現在、設置されている。しかし、経年劣化で破れている電柱幕などがある。すべての歩車分離式交差点を点検し、速やかに交換することを求める。

信号機の設置を

Q 戸田中通りの南町と新曽南3丁目の地域境の交差点に信号機設置の要望がある。市民要望に応え、信号機を設置すべきではないか。

A 信号機設置要望の交差点は、平成24年、平成29年に蕨警察署へ要望書を提出しているが、「信号機設置の指針」の設置基準に満たないため、設置には至っていない。市としては、改めて地域からの要望があれば、蕨警察署へ伝えていく。



南町と新曽南3丁目の地域境の交差点



たけ うち まさ あき

竹内 正明 議員

(公明党)

録画配信



子どもたちの架け橋を大人同士の連携で

幼保小の架け橋プログラム

Q 本年4月に戸田南小「一年生生活支援ボランティア」を経験し、一年生の成長や先生方のご苦労、関係者の支援を自身も体験できた。南小は「架け橋プログラム」のモデル校として評価が高い。事業概要について伺う。

A 幼稚園や保育所から小学校への就学で環境が大きく変わる。例えば、遊びを中心とした環境を通した学びから、時間割に沿った学習や集団生活へ移行する。変化に慣れるまで時間がかかり、落ち着いて学習に向かうことが難しかったり、学校生活に不安を感じたりする状況は「小1プロブレム」として全国的にも課題となっている。事業では5歳児から小学1年生までの2年間を「架け橋期」と捉え、子供に関わる大人が立場を超えて連携し、幼児の育ちと小学校教育を円滑につなぐことを目的に市内の5つの地域にモデル園・モデル校を設定した。市内の幼保小が連携して取り組むことで、子供を中心に据えた切れ目のない支援が進み、保護者の安心感にもつながるものと考えている。



小学校入学に際しての冊子TODACCO（とだっこ）

戸田市住まいの防犯対策補助事業

Q 匿名・流動型犯罪グループが関わっているとされる犯罪が増えている。令和6年12月議会で「戸建て住宅の防犯対策への補助制度」を提案し、令和7年度に実現した。その実績と令和8年度も実施する理由は。

A 278件、424万2,000円であった。申請が最多の防犯設備は防犯カメラの135件。防犯意識の醸成と防犯対策が期待されることから令和8年度も実施。

意見 効果のある事業として令和8年度分も周知を。



や ざわ はる か

矢澤 青河 議員

(戸田の会)

録画配信



ハイリスク層へ積極的なアプローチを！

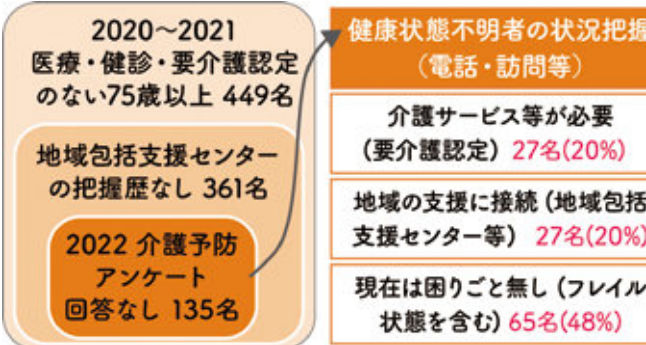
市保有の情報で高齢者の孤独対策を

Q 市の支援の網から漏れてしまう高齢者の孤独・孤立を防ぐには、生活の中に現れる兆候を察知し、市が能動的に関わる「仕組みとしてのアウトリーチ」が不可欠。本市の見守りの現状と今後の対策は。

A 本年6月に「高齢者寄り添いネットワーク」を新設。従来の福祉部門に加え、居住実態や納税状況を把握する市民課・収納推進課との連携を明文化し、庁内連携を強化。高齢者の孤立や生活状況の悪化が長期間見過ごされる事案に対して、法令に基づく調査で居住実態を把握し、早期支援につなげることが可能となる。

Q 普段問題なく暮らす方も、病気や死別など環境の激変を機に誰もが孤立へ陥るリスクがある。SOSを真っ先に受け取れるのは死亡届や税金などを扱う窓口であり、重要な連携である。さらに深刻なのは、自ら助けを求めず、支援が届いていない未捕捉のハイリスク層。先進自治体では、行政が持つ医療や介護の情報を集約した国保データベースを基に「数年間、医療・介護が未利用」で「市の支援につながっていない」健康状態不明の高齢者を訪問し、保健指導を実施。本市でも医療・介護の利用情報を活用して積極的な対策を行えないか。

A 高齢者の医療・介護の利用状況は、生活実態を把握する上で非常に重要な情報。これらの情報を活用した積極的な見守り訪問は、孤立防止や早期支援に非常に有効と認識している。今後はリスクのある世帯を抽出し、課題が深刻化する前に柔軟に訪問できる仕組みの具体的な検討を進める。





介護する人される人、どちらにも優しい制度に

公園での手持ち花火使用

Q 原則禁止の公園での花火使用について、実証実験を行う背景や市民ニーズ、対象6公園の選定基準や地域バランス、違反時の対応、騒音や煙など近隣への安全対策を問う。

A 市民からの複数の要望や町会・自治会への意向調査の結果から、地域の愛着を育み魅力ある公園づくりを推進するため、ルール厳守を前提に手持ち花火が使用できる実証実験を行う。4方向が道路に囲まれ一定のスペースがある6公園などを地域バランスも考慮し選定した。広報やホームページなどで周知し、違反を確認した場合には別途巡回や注意喚起を行い近隣への迷惑防止に努める。



花火が夏の思い出となるよう公園利用継続と拡充を

在宅介護を支える福祉用具購入制度

Q 申請手続きで3回も市役所に赴く事業者の負担認識と、ポータブルトイレの消臭機能やラップ処理袋の許可、温水洗浄便座への助成など、在宅生活を支える柔軟な給付判断を問う。

A 購入後に介護保険からの給付対象外となる不利益を防止する観点から事前申請を求めている。事業者の負担軽減は重要と認識しており、近隣市の状況を踏まえ見直しを検討する。またポータブルトイレの消臭・衛生機能や温水洗浄便座などの付随機能の給付は、国の判断基準に基づき市が個別に判断しているが、今後は利用者の心身状況や変化、他市の判断事例も参考に介護者の介護力、居住環境などを十分に踏まえ適切に判断していく。



学校教育の伝統文化の取り組み

Q 近年、日本文化に関心が高まる中、自国文化を説明できない日本人が多いとの指摘を耳にする。そこで学校教育で伝統文化学習に取り組んではどうか。

A 小学校の社会で副読本「とだ」や郷土博物館での学習、中学校の音楽で琴の演奏、英語で自国文化の紹介などに取り組んでいる。また、ささら獅子舞、沖内囃子^{はやし}など地元保存会の方を講師とした体験も行っている。

Q さらなる機会拡充として、地域クラブ活動に追加し、自ら選び学べる場を広げてはどうか。地域人材の活用は、大人たちとの交流や子供たちの見守りにもつながり、感性を伸ばし世界を広げるきっかけになる。

A 今後も体験活動を通して、子供たちがより豊かに成長し、世界が広がり、グローバルな資質を育んでいく。



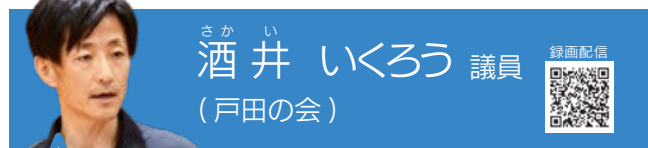
ささら獅子舞

高齢者の支援体制づくり

Q 高齢者の見守り、支援制度の周知は重要。ホームページだけでは情報が届きにくい。本市の取り組みは。

A 地域住民、民生委員、地域包括支援センター、警察、民間事業者などと連携し、緊急通報機器やGPS助成などの見守り体制を構築。各種案内チラシ配布や広報掲載などにより、相談時の適切な支援や資源の案内を実施している。

意見 本市は、移動スーパーとの連携や多様な制度・サービスに加え、高齢者の見守りや居場所づくりにも力を入れている。こうした情報が誰一人取り残されることなく周知され、支援の輪が広がり、高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けられるまちづくりの推進を希望する。



オープンで公正なまちをつくろう！

契約の透明性・公正性の確保を！

Q 本市ではプロポーザル方式や包括連携協定の導入が積極的に進められている。金額だけで業者が決まる入札と異なり、行政側の裁量やさじ加減によって選定結果が左右されるため、一步運用を誤れば、契約の公正性が揺らぎ「特定の業者への利益誘導ではないか」という疑念を招きかねない。①包括連携協定において1円でも費用が発生する場合、入札等競争性の働く調達とすべき②選定委員に外部委員を導入し、委員名を事前公表すべき③提案資料や選定過程を公表し透明化すべき。

A ①現状、協定を理由とした随意契約を禁止する規定はない。必要に応じて追記を検討する②③研究する。

施設での投票の公正性の確保を！

Q 指定施設での外部立会人の設置は公職選挙法上の努力義務とされているが、本市の対象12施設ではこれまで設置実績が一度もない。外部の目が一切ない環境で、職員が「〇〇候補がいいですよ」などと声をかける、手を添えて特定の候補者名を書かせるなどの行為があっても、それをチェックする手段がない。入所者にとって、施設職員は日々の生活や命を委ねている存在であるため、自分の意思とは異なる投票をしてしまうリスクが高い。導入に向けた考えは。

A 積極的に導入していただけるよう、市職員が全12施設を訪問して趣旨説明し、一つでも導入できるよう工夫を図る。



投票立会人を務める施設職員（画像はイメージです）

※プロポーザル方式：民間企業の提案によるコンペ方式の業者選定。

※包括連携協定：自治体と民間企業の総合的な協力契約。

※指定施設における不在者投票：病気や高齢などの理由で、病院や老人ホームに入院・入所している人が、施設の中で投票できる仕組み。



ふるさと祭り[※]と商工祭の同日開催

Q 同じ日に同じ会場で別々の祭りを開催する認識だが、出店やステージなどのイベント運営や出納管理、人員体制は別々となるのか。

A 双方の実行委員会が締結した覚書により、それぞれが役割などを担う。なお、収入と共通経費の支出はふるさと祭り側で一元管理するほか、人員についても双方が協力していく。

意見 これまでの説明から、議員や祭りに携わる市民は同日だが別々に開催すると理解していたが、これだけの共通点があり、これで開催時間も延長されないのであれば、事実上は一つの祭りであり、合併と認識するのが通常だ。市民へ状況が正確に伝わるよう、事前の説明と、事後の評価をしっかりと行ってほしい。



市民の手による、市民のためのお祭りを！
（上）商工祭青年部ブース
（下）ふるさと祭り

飼い犬へのリードの使用

Q 先日、彩湖・道満グリーンパーク内でリードを付けずに飼い犬の散歩をしている人がいるとの情報を市民からいただいた。大変危険であると考えが、どのようなルールと対応になっているのか。

A リードの使用については、埼玉県動物の愛護及び管理に関する条例で規定されており、巡回や貼り紙による注意喚起、定時放送を実施するとともに、このような行為をしている飼い主への指導を行っている。

意見 事故があれば、過失傷害罪に該当すると考える。飼い主から犬への信頼に基づく行為であると思うが、第3者には恐怖を与え、危害を加えてしまう可能性のある重大な行為と認識して厳重に指導してほしい。

シリーズ
Vol.16

～聞きたい 知りたい 議会のしごと～

議会を知っセココ!

Q. 議長ってどんなしごと？

A. 市議会議長は市議会の代表として議会全体をまとめるリーダーです。市議会は市民の暮らしに関わるルールや予算などを話し合っているところで、議長はその話し合いが公平でスムーズに進むように会議を進行しています。

議長にはこんな権限がある！
○議事を整理するため、開会の宣告、議事の進行、発言の許可、議会の意思を決定する表決など、議場での議事進行は議長に委ねられています。
○議場内の秩序を保持するため、会議規則に違反して秩序を乱す者がいた場合、発言を止めたり、注意をしたりすることができます。

今回は議長のあある一日を紹介するよ！

- 9:00 登庁「1日の予定を確認します」
- 10:00 本会議「公正な議論を行うために、議場内の規律と秩序を守り、議事の整理に努めます」
- 12:00 休憩「お昼休み。午後の予定に向けてしっかりと栄養補給します」
- 13:00 委員会「議会運営委員会に出席し、本会議の運営や議会の条例・規則などを協議します」
- 15:00 行事への参加「市議会を代表して各種行事や市内団体の会議に出席し、あいさつをしたり、意見交換を行います」
- 17:00 打ち合わせ・決裁「事務局職員との打ち合わせや各種決裁を行います」
- 18:00 退庁「1日お疲れさまでした」



議長のしごとは、市民のための議会を中立公正になるよう、議会全体の代表者として議会を運営していきます。また、閉会中はお休みというわけではなく、議会の代表として、各種行事や会議に出席するなど、市民の意見を市政に反映するため、年間を通してさまざまな公務にあたっています。

令和8年 戸田市議会年間活動計画

過去のテーマ
などはこちら

本市議会では、4つの常任委員会における「年間活動テーマ」の取り組みを積極的に行っています。今年も「戸田市議会年間活動計画」を基に活発な議員問討議を行い、執行部に対してさまざまな提言を行っていきます。

委員会名	年間活動テーマ	テーマの背景
総務	魅力的な職場づくりについて	職員あってこそその市役所であるが、本市でも一定の離職が続いている、離職を減らせるような、魅力的な職場づくりについて調査・研究する。
文教・建設	生涯学習の拠点としての図書館・郷土博物館の活用について	市民の誰もが生涯にわたって、主体的に学び続けることを支える施設として、図書館や郷土博物館をより身近なものと感じられるようにするための方策について調査・研究する。
健康福祉	持続可能な地域医療体制のあり方について	地域医療体制の強化に向け、現状や課題を把握するとともに、行政が実施すべき支援策などについて調査・研究していく。
市民生活	これからの防犯対策について	市民の関心が高い防犯体制の強化について防犯対策の現状を踏まえつつ新たな技術や先進自治体の取り組みについて調査・研究する。

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
テーマ設定			視察・検証	協議				視察・検証	協議		まとめ

委員会
視察レポート



本市議会では、委員会ごとに「年間活動テーマ」を決めて、今定例会の前後に、本市の現状や先進地における取り組みについて各委員会で視察を行いました。

総務常任委員会 他自治体の人事給与制度改革を視察して

【大阪府和泉市】
和泉市では、約30年後の市制施行100周年に向け、目指す職員像を見直し、また初任給を大幅に上げるとともに財政負担を考慮した昇給カーブへと見直すなどの人事給与制度改革に取り組まれていました。



大阪府箕面市

【大阪府箕面市】
箕面市では、土木職の不足に対応するため、初任給調整手当により、機動的に大卒初任給を全国最高水準へと上げるなどの人事給与制度改革に取り組まれていました。

文教・建設常任委員会 本に親しむ場を作る図書館上戸田分館の取組を視察

【戸田市立図書館上戸田分館】
7月7日（火）に上戸田地域交流センター「あいパル」2階にある上戸田分館を視察しました。様々な切り口で特集された書籍紹介や書籍内の印象的なフレーズを抜粋したカードの配布など、本を手にとってもらうための工夫が凝らされています。また、広場に面した閲覧席や扉を閉じて読み聞かせのできる絵本コーナーなど、利用者ごとに読書しやすい環境も整えられています。



カフェラウンジ横の図書館情報ステーション

分館の外、あいパル1階のカフェラウンジ横にも図書館情報ステーションが展開されています。季節に合った書籍が紹介されており、図書館以外の施設利用者も本と出合える場となっています。

健康福祉常任委員会 市民医療センターを視察

【戸田市立市民医療センター】
地域医療体制と市民医療センターの現状と課題を確認するため市民医療センターを視察しました。市民医療センターの診療施設、検査設備、入院病棟およびリハビリ施設の現状を確認すると共に、地域医療体制への貢献や診療体制の改善の取り組みを確認するとともに、訪問看護ステーションや、包括支援センターの取り組みによる、医療と介護の連携について確認しました。



センターの検査設備

市民生活常任委員会 他自治体の防犯対策、企業の防犯AIシステムを視察

【愛知県岡崎市】
防犯対策を犯罪件数だけで評価するのではなく、市民が安心して暮らせると感じる「体感治安」の向上を目標として、市民ニーズを把握し、防犯対策に取り組まれていました。



兵庫県尼崎市

【兵庫県尼崎市】
防犯に先進的に取り組むまちであることを積極的に情報発信する「アナウンス効果」を重視し、犯罪を起こさせない環境づくりを意識した防犯対策に取り組まれていました。

【株式会社アジラ】
防犯カメラ映像をAI技術により画像解析し、人の異常行動や、車両の駐停車等を検知する独自のAIシステムが開発されていました。



株式会社アジラ

トピックス 議会topics

夏休み議会見学ツアーを開催します（小・中学生対象）

戸田市議会では、主権者教育の一助となるよう、議会を身近に感じてもらう取り組みとして、令和4年度から「とだみらい会議」を開催しています。今年も開催に向けて実行委員会で企画運営の準備を進めています。小・中学生を対象に夏休み中の8月16日（日）午後1時から開催します。議場や議会フロアの見学ツアー、



昨年のとだみらい会議の様子

模擬投票、議会クイズなど、さまざまな企画に参加して議会について楽しく学びませんか。学習の機会や夏休みの思い出づくりにぜひご参加ください。



申し込みはこちらから▶
※申し込み状況によっては、受付を締め切っている場合があります。



市議会モニターとの意見交換会

市議会モニターと議員（議長、副議長、議会運営委員長、議会改革特別委員長、議会広報委員長）による意見交換会を開催しました。「議会に関心をもっていただくための取り組みについて」をテーマに積極的な意見交換が行われ、議会モニターの方から「イベントに参加して議会活動のPRをしてはどうか」「傍聴席の配置を変えてはどうか」など市民目線でさまざまなご意見をいただくことができました。



活発な意見を交わしました

永年勤続議員表彰

毎年、全国市議会議長会の定期総会において、地方自治に永年貢献された議員に対して表彰が行われます。今回は、遠藤英樹議員が25年表彰を受賞されました。

遠藤議員、おめでとうございます。

（左）三輪議長、（右）遠藤議員



全国の議会からの行政視察を受け入れています

戸田市議会では全国の議会からの行政視察を受け入れています。令和7年度は29の自治体議会が来訪され、戸田市の取り組みを視察されました。特に依頼の多い調査事項は、「教育改革」「戸田型オルタナティブ・プラン」など教育委員会の先進的な取り組みで、そのほかには、「議会改革」「議会だよりの編集」など議会の取り組みや、「チャットGPT」「AI総合案内サービス」などデジタル部門の取り組みも注目されています。



市議会60年の歩み ～変わらぬ想い、変わりゆくカタチ～



本年、市議会は設置から60周年を迎えました。まちの発展とともに歩んできた60年の歴史を振り返ります。

60年前（昭和41年頃）

比べてみました

現在（令和8年）



30人	議員定数	25人
紙の資料が中心	会議の様子	タブレット端末を活用 ペーパーレス化を推進
約5.5万人	市の人口	約14.3万人
約10億円	予算規模 （一般会計）	約675億円
—	本会議の中継	インターネットで ライブ・録画配信



60年のあゆみ～主なできごと～

1960年代	昭和41年 6月	戸田町議会、市制施行を議決
	昭和41年 10月	市制施行（県下24番目、全国561番目）
1970年代	昭和48年 3月	とだ議会だより創刊
	昭和54年 12月	戸田、浦和、与野市議会 新幹線建設容認を議決
1980年代	昭和59年 8月	中国開封市と友好都市締結
	昭和60年 9月	埼京線開業
1990年代	平成 4年 10月	オーストラリア・リバプール市と姉妹都市提携
	平成 5年 2月	埼玉県美里町と姉妹都市提携（現在は解消）
2000年代	平成 16年 6月	一般質問を一問一答方式に変更
	平成 18年 6月	本会議中継のインターネットライブ配信を開始
2010年代	平成 21年 12月	本会議中継の録画配信を開始
	平成 22年 2月	戸田市議会初の女性議長誕生
2020年代	平成 28年 10月	市制施行50周年
	平成 30年 8月	議会において、タブレット端末を導入
2020年代	令和 2年 3月	議場傍聴席のバリアフリー化（段差の軽減、落下防止柵の改修、車椅子スペースの拡張、照明の調光機能の追加）
	令和 3年 11月	議場傍聴席のバリアフリー化（音声自動文字化システムを導入したモニターを設置）
2020年代	令和 5年 2月	議会における「服装の自由化」を試行運用開始（12月本格実施を開始）



議会だよりを読んで、クイズに答えよう！応募の際は、**2問とも答え**を書いてください。また、**住所は番地まで**（マンションなどの場合は部屋番号まで）書いて応募してください。

クイズ〇に入る言葉や数字は、ななに？

問1 戸田市は今年の10月に市制施行〇〇周年を迎えるよ。

問2 ゼロカーボン推進補助金は〇〇〇〇・〇〇〇の買換えが対象だよ

応募方法

- ◆はがき、ファクス、メールのいずれかで応募してください
- ◆クイズの答え、議会だよりへの感想、住所、氏名、電話番号、年齢を書いてください
- ※議会SNS（Instagramなど）の感想もお待ちしています！！
- ◆正解者の中から抽選で5人の方に、クオカード(500円分)をプレゼントします

あて先

【はがき】〒335-8588 戸田市上戸田1-18-1 戸田市議会事務局「知っtoocoクイズ」係
【ファクス】048(433)2212「知っtoocoクイズ」係
【メール】gikajimu@city.toda.saitama.jp ※メールの件名は、「知っtoocoクイズ」としてください
【締切】8月28日(金)必着 ※ご記入いただいた個人情報は、目的（賞品の発送、当選者発表）以外には利用いたしません

議会傍聴案内

議会は誰でも傍聴することができます
予約は必要ありません



▼ 傍聴の流れ

STEP 1

本会議傍聴→市役所8階傍聴受付にお越しください。

委員会傍聴→市役所6階議会事務局にお越しください。



STEP 2

受付簿に必要事項を記載していただきます。

傍聴人受付簿

氏名	住所	電話番号
年齢	性別	職業

STEP 3

傍聴の心得を守り、傍聴してください。
会議の途中でも入退場は可能です。



STEP 4

お帰りの際に、傍聴券を係員に返却してください。



その他

直接議場に来ることができない場合には、パソコンやスマホなどで視聴することもできます。



字幕用モニターを設置して、わかりやすい発信に努めています。

題字を書いた人



私は字を書くことが大好きなので、とだ議会だよりの題字を書けると聞いて、とてもうれしかったです。一つ一つの文字の大きさ、バランスなどを意識して書きました。これからも、きれいな字を書けるように心がけます。

新曽北小学校 6年

ひら なか さ き こ
平中 彩希子さん

次回9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
	8/24 議案説明	25	26	27	28	29
30	31	9/1 質疑	2 常任委員会	3 常任委員会	4 常任委員会	5
6	7 常任委員会	8 特別委員会	9 一般質問	10 一般質問	11 一般質問	12
13	14 一般質問	15	16	17	18 討論採決	19
20	21	22	23	24	25	26

テレビ番組「こんにちは県議会です」が日曜日に放送中！

こんにちは
県議会です

テレビ埼玉
日曜朝10時より

～県議会に関する情報をタイムリーにお伝えします～

※放送予定は県議会ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/e1601/gikai-tereb.html>



表紙

紙でも紹介されています、農産物の直売が戸田市役所東側ロビーで開催されています。これから、夏野菜がおいしくなる季節です。ブロッコリー、キュウリ、ナス、ピーマン、トマト。サラダや炒め物でおいしく召し上がりましょう。健康のためにも！(石)

プロサッカー選手に憧れた少年時代。ワールドカップで国の誇りを胸に戦い、互いを称え合う選手たちの姿から、いつも勇気と感動をいただいています(佐)

梅

雨が明け、毎日暑い日が続いています。自宅で育てている鉢植えも、この時期は朝晩の水やりが欠かせません。花が咲いたり、新しい葉が増えたりする様子に元気をもらっています。皆さまもこまめな水分補給を心がけ、どうぞ暑さにお気をつけてお過ごしください。(小)

今

夏、海のゴミ拾いを体験してきました。海なしの戸田でも、彩湖BASEでは海の環境問題を身近に学べます。自然のつながりを感じる夏。この夏も太陽のような笑顔で、皆様楽しい日々を過ごせますように！(辺)



発行：戸田市議会 編集：議会広報委員会
〒335-8588 戸田市上戸田1丁目18番1号



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています



本紙は環境に配慮しバイオマス
インキを使用しています